

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年1月24日
学校法人頭陀寺学園 岩田こども園

参加者 : 地域安全推進委員、他園施設長、元幼稚園教諭、保護者代表、当園長、理事長

1. 本園の教育目標

明るく たくましく 賢く 感性豊かな子の育成

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・新しい考えの受容
- ・保育教諭としての自覚
- ・チャレンジ精神

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	新しい考え方や方法を、積極的に受け止める姿勢を持ち、旧来の考え方や方法に捕らわれない。	B	年齢、経験問わず自由に意見交換ができる場を設定することで、新しい意見が繁栄されている。
2	命を預かっているという認識をしっかりと持っており、子どもの手本となる行動を意識している。	C	研修・会議を開き、意識向上に向け取り組んでいるが、個々の認識格差が生じている。
3	園児の保育環境や職場環境の向上を意識し、よりよい方法や取組みを考え出し、「もっとこうの方がいい」と積極的に意見交換をしている。	B	ひとつひとつの課題に対し、話し合いを重ねることで、園全体に視野が向き自己の考えが発信され始めた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	子ども・保護者・職員それぞれの関係づくりの成果はでている。 今後も教育方針の下、意見の共有をし、課題を持ち、より良い環境づくりに努めていきます。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	失敗への対処	多方面から原因を考え、様々な意見を出し合い改善に向ける。
2	会議への参加姿勢	限定的な思考に捕らわれず園全体に視野を広げ柔軟性を持ち会議に参加していく。
3	組織の風通し	会話に重点をおき、一人一人が相手を認め合うことで、組織の風通しの良さを図っていく。

6. 学校関係者評価委員会の評価

評価	総評
A	民営化に伴い不安なことが多からずあったが、子どもたちも落ち着いた生活を送ることができており、円滑に移行が出来ているように感じる。少子化に伴い、子どもの数も減ってくることから園児・保護者・教職員と手を取り合い団結していってほしいと感じる。